

授業概要

この授業のテーマはイギリスとアメリカを中心とした英語圏文学への誘いである。その文学に誘うために、詩、劇、小説の3つのジャンルの主だった作家・作品を取り上げ、作品からの一部抜粋を通じて英語表現を学びつつ、その多様で豊かな想像力の世界を講義する。また英語圏文学にまつわる基礎的な事柄（時代的および文化的背景、文学用語など）も学習する。なお毎回の授業の最後に、授業内容に関連した問題演習（提出）を行う。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方など）、取りあげる作家・作品の説明など
第 2 回	英語の詩① 短詩
第 3 回	英語の詩② 物語詩
第 4 回	イギリスの劇① ウィリアム・シェイクスピアの史劇
第 5 回	イギリスの劇② ウィリアム・コングリーヴとジョージ・バーナード・ショーの喜劇
第 6 回	アメリカの劇 ユージン・オニールとニール・サイモンの劇
第 7 回	イギリス小説① チャールズ・ディケンズの『クリスマス・キャロル』
第 8 回	イギリス小説② シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』
第 9 回	イギリス小説③ ロバート・ルイス・スティーヴンソンの『ジキル博士とハイド氏』
第 10 回	イギリス小説④ アーサー・コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズ
第 11 回	イギリス小説⑤ J・R・R・トールキンの『指輪物語』
第 12 回	アメリカ小説① マーク・トゥエインの『トム・ソーヤーの冒険』
第 13 回	アメリカ小説② オー・ヘンリーの短編小説
第 14 回	アメリカ小説③ F・スコット・フィッツジェラルドの『グレート・ギャッピー』
第 15 回	第 1 回から第 14 回までのまとめ
第 16 回	学期末試験

到達目標

この授業の到達目標は、イギリスとアメリカを中心とした英語圏文学に関する基礎的知識（主要な作家・作品、文学用語など）を身につけることである。

履修上の注意

授業開始後 30 分以上超えた場合は欠席扱いとするので、注意すること。私語厳禁。

予習・復習

事前に配布したプリントを読んだうえで授業に出席すること。授業後は学んだ内容を確認すること。できれば、授業で取り上げる作家の作品を読んで欲しい（訳本で可）。

評価方法

学期末試験 75%、第 2 回から第 14 回に課された問題演習 25%。

テキスト

教員作成のプリントを用いる。また Power Point および DVD なども活用する。